

イタリアに集うキウイフルーツ研究者

― 熱気あふれる国際シンポジウム ―

久々のヨーロッパでの開催となったシンポジウムに喜び勇んで出かけました。フランクフルト経由で、ポローニャへ。そこから会場のファエンツァまで鉄道の旅。

四年ぶりに集った世界各国の研究者は、期間中、昼夜を（アルコールの有無を）問わず、研究成果や関心のあるトピックを熱く語り合いました。

会場では、イタリアで、最も多様なマタタビ属の遺伝子資源を保有しているウディネ大学から、キウイフルーツの新品種や珍しい野生種の果実の展示があり、初めて実物を目にしたものもありました。世界のキウイフルーツ主産国であるイタリアの大規模な果樹園やパッキングハウスの見学ツアーも楽しく大変参考になりました。

最終日のディナーでは、イタリアワインを堪能しながら、四年後の再会を誓いました。

二〇一〇年九月十二日

